

G i k a i

2021.1.21 第60号

おみたま市議会だより



コロナに負けず
明るく
飛躍する年に

Contents

- 新年のご挨拶 P2
 - 第4回定例会等審議結果一覧 P4 - 5
 - 常任委員会Q&A P6 - 7
 - 一般質問 P9-14
- (今号の表紙：霞ヶ浦湖岸から見る日の出)

2021

謹賀新年



副議長
石井 旭



議長
菅目 雄一



明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中の議会運営に対し、市民の皆さま方の格別なご支援とご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の猛威により、かつてない時代の転換期を迎え、「新しい生活様式」の推進などにより市民の意識や価値観も変化を余儀なくされました。議会としましても、市民の皆さまが健康で安心した社会生活を送れるよう、全力を挙げて事態の早期収束と市民生活及び地域経済の維持のため引き続き最大限の協力と支援を行う所存でございます。

さて、本市では、今年度、公共施設等総合管理計画、公共施設建築物系個別施設計画、第4次行財政大綱、同実施計画及び環境基本計画等々の策定をはじめ、茨城空港アクセス道路の全線開通や玉里学園義務教育学校の開校に向けた事業を着実に進めております。

市議会では、議会活動の活性化と効率化を図るため、市執行部と連携し、ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入をはじめ、会派制の導入及び政務活動費についての調査、研究を行っております。また、茨城空港周辺地域振興対策、百里基地対策についても、引き続き重点的に調査、研究を行い、政策提言などに取り組んでまいります。

結びに小美玉市の更なる発展と市民の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

戸香長島村木植石幡谷長岩福小大田笹市荒野
田取津 田田村木井谷仲島本島川槻村目村川村
清 ヤ

(議席順) 見憲智一春喜弘 好和幸好ヨ賢良昌雄文一武
良一之郎樹一子旭文雄男夫ヒ治明男一男秀勝

コロナ対応補正予算など可決 / ひとり親世帯臨時特別給付金 電子黒板、学習用タブレット端末 買入れ契約締結など

令和2年第4回定例会は、12月3日から18日までの16日間の会期で開かれ、全19議案を審議しました。感染症対策として、議場にアクリル板が設置され、前回同様、一般質問の発言時間を40分から20分に短縮して行いました。上程された全19件の議案は、全会一致で可決しました。



▲提出議案の説明を行う島田市長

▼一般質問（12月10日）



議案第90号 令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第8号）

<主な内容>

- ふるさと応援に対する指定寄附金（歳入） 7,000万円
- 小美玉市医療センター経営改革事業 2億6,546万4千円
- 農業振興事務費 731万2千円

議案第96号、議案第100号、議案第101号 動産の買入れ契約の締結について

<買入物件>

- 学校給食センター統合備品
- 電子黒板および付属品
- 学習用タブレット端末



▲文部科学省 HP

国のGIGAスクール構想を踏まえ、児童生徒および教員のICT環境の向上を図り、教育の機会均等の観点から、ICTの活用により自宅でもリモート授業を行えるよう環境整備を図る。

議案第102号 令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第9号）

<主な事業>

- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 1,478万円
- 中小企業活性化事業
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金 2,000万円

新しい生活様式に対応した 補正予算可決 / 美野里中学校トイレ改修工事 小川北義務教育学校校舎建設工事契約締結など

▶ 第2回臨時会 / 10月23日

議案第80号 一般会計補正予算（第7号）

議案第81号 工事請負契約の締結について

第2回臨時会では、一般会計補正予算として、美野里中学校トイレ改修工のほか、新しい生活様式に対応するため、公共施設予約システムや確定申告時に使用する携帯型呼出機導入経費などの補正予算案が市長より提出されました。

そのほか、令和4年4月開校予定の小川北義務教育学校校舎建設工事の請負契約締結に伴う議案について、全会一致で可決しました。

議案第82号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

議会選出の長島幸男議員の監査委員辞職に伴い、市長から田村昌男議員を後任の監査委員に選任したいという議案が提出され、全会一致で同意しました。

<主な内容>

- 美野里中学校トイレ改修工事 1億5,703万円
- 道路台帳システムデジタル化事業 7,627万4千円
- 公共施設予約システム導入事業 1,202万1千円
- 税申告に係る感染防止対策事業（写真下） 549千円



◀確定申告（小川会場）で導入される携帯型呼出機（建物内に限らず、約100m送受信可能）

▶ 第3回臨時会 / 11月26日

議案第83号 小美玉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

令和2年 第4回定例会 審議結果等一覧 (全19件)

番号	案件名	内 容	付託	審議
■条例（6件）				
84	小美玉市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	職員の高齢者部分休業に関し必要な事項を定めるもの	総務	可決
85	小美玉市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	職員の配偶者同行休業に関し必要な事項を定めるもの	総務	可決
86	小美玉市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例について	これまでの使用料等の減免に関する条文に加え、既納の使用料の全部又は一部を返還することができる条文を整備するもの	総務	可決
87	小美玉市国民健康保険直営診療施設の設置等に関する条例を廃止する条例について	小美玉市国民健康保険白河診療所を令和3年3月31日付で閉所することに伴い、関係条例の廃止及び所要の改正を行うもの	文教 福祉	可決
88	小美玉市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等の特例に関する条例の一部を改正する条例について	市の特色ある教育環境を目指し、小学校に市費負担の教職員を配置し、少人数化に取り組んでいる中で、中学校までこの取り組みを拡大するため、所要の改正を行うもの	文教 福祉	可決
89	小美玉市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	小美玉市立玉里学校給食センターを廃止し、小美玉市立小美玉学校給食センターに統合するため、所要の改正を行うもの	文教 福祉	可決
■令和2年度補正予算（7件）				
90	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第8号）	[補正額] 9億 109万4千円 [補正後額] 322億4,808万8千円	各委員会	可決
91	令和2年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	[補正額] △ 302万8千円 [補正後額] 51億8,540万7千円	文教 福祉	可決
92	令和2年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	【事業勘定】 [補正額] 9万1千円 [補正後額] 5億7,372万4千円	文教 福祉	可決
93	令和2年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第2号）	[補正額] 1億1,688万8千円 [補正後額] 40億7,920万3千円	文教 福祉	可決
94	令和2年度小美玉市水道事業会計補正予算（第2号）	[補正額] △ 46万5千円 [補正後額] 8億1,064万1千円	産業 建設	可決
95	令和2年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第2号）	【収益的収入及び支出】 収入[補正額] 2,415万8千円 [補正後額] 11億9,769万5千円 支出[補正額] 604万4千円 [補正後額] 11億4,079万1千円 【資本的支出】 支出[補正額] 1,811万4千円 [補正後額] 11億5,815万4千円	産業 建設	可決
102	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第9号）	[補正額] △ 1,733万8千円 [補正後額] 322億3,075万円	各委員会	可決

審議結果

番号	案件名	内 容	付託	審議
■その他（6件）				
96	動産の買入れ契約の締結について	学校給食センター統合備品の買入れの契約を締結するもの	文教福祉	可決
97	指定管理者の指定について	保健福祉施設(四季健康館・小川保健相談センター・玉里保健福祉センター)の指定管理者の指定期間が本年度で最終年度となるため、令和3年度以降の指定管理者を指定するもの	文教福祉	可決
98	解約金の額の決定について	小美玉市医療センター新病院開院に伴い、旧病院で使用していた電話交換機等の賃貸借契約解除に伴う解約金の額を決定する必要があるため、地方自治法の規定に基づきこの案を提出するもの	文教福祉	可決
99	湖北環境衛生組合を組織する地方公共団体の数の減少及び湖北環境衛生組合規約の変更について	令和3年3月31日をもって、湖北環境衛生組合から土浦市が脱退すること及び湖北環境衛生組合規約の一部を変更することについて協議するもの	総務	可決
100	動産の買入れについて	電子黒板及び付属品の買入れの契約を締結するもの	文教福祉	可決
101	動産の買入れについて	学習用タブレット端末の買入れの契約を締結するもの	文教福祉	可決

令和2年 第2回臨時会 審議結果等一覧（全3件）

番号	案件名	内 容	付託	審議
80	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第7号）	[補正額] 2億5,367万2千円 [補正後額] 313億4,699万4千円	—	可決
81	工事請負契約の締結について	小美玉市立小川北義務教育学校校舎建設工事の請負契約を締結するもの	—	可決
82	監査委員の選任につき同意を求めることについて	監査委員辞職に伴い、議会から選任する監査委員について田村昌男氏を選任するため、議会の同意を求めるもの	—	同意

【賛否が分かれた議案等】 令和2年 第3回臨時会（全1件）

※議長は採決に参加しません。

議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	付託 委員会	審議 結果
	戸田 見良	香取 憲一	長津 智之	島田 清一郎	村田 春樹	木村 喜一	植木 弘子	石井 旭	幡谷 好文	谷仲 和雄	長島 幸男	岩本 好夫	福島 ヤヨヒ	小川 賢治	大槻 良明	田村 昌男	市村 文男	荒川 一秀	野村 武勝		
83 小美玉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	可決

- まめに手洗い、手指消毒
- こまめに換気
- 咳エチケットの徹底（マスク着用等）
- 身体的距離の確保
- 3密の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の健康チェック / 発熱など症状がある時は無理せず自宅で療養
- 自身の健康状態に応じた運動や食事、禁煙等適切な生活習慣の実行

正しい知識と冷静な行動で
新しい生活様式を実践しましょう

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。
議員はいずれかの委員会に属し議案審査にあたります。
12月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

田田村 槻本 伸
◎村戸市大岩 谷

◆ふるさと応援の指定寄附金

問 ふるさと応援の指定寄附金を大幅に増額した要因を伺う。

答 これまでのふるさとチョイスのポータルサイトと、令和2年11月から楽天が運営するふるさと納税のポータルサイトを新たに追加して、2つのポータルサイトでの受け入れを実施している。ふるさとチョイスでの受け入れ額が、昨年度と比較して約20%増加している。また、新たに加えた楽天ポータルサイトでは、開始して約1か月程度で、約1千万程度の寄附があり、額が伸びていることから、増額したものの。

◆広報活動経費

要望 「広報おみたま」に関して、小美玉に関するストーリー性、関連する特集記事の視点、インパクトのある写真など、最近広報紙のクオリティが高くなっていることを評価したい。SNSやウェブサイトの普及もあるが、全体的に見ると、広報紙の情報が一番メインになるかと思うので、引き続きよろしく願いたい。

◆市職員の配偶者同行休業

問 休業中の給与は支給されるのか。復帰後の給与は。

答 休業中の給与は支給されない。復帰後の給与の号給は、100分の50以下の換算率で調整していく。

産業建設

川田村 村島 井
◎荒島野 田福 石

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金

問 補助金申請状況と、事業の周知方法は。

答 12月15日現在で542件申請されている。市のHPや広報誌等のほか、市商工会・観光協会・金融機関等で事業周知を行っている。

要望

「いばらキアマビエちゃん」の登録など事業者の感染防止対策が重要と考える。すべての事業者が補助金を活用して感染対策が実施されるよう事業の周知徹底をお願いしたい。

◆園芸リサイクル負担金

問 今回負担金を増額する理由は。

答 農業用廃プラスチック排出量の増加と、リサイクル料金の高騰による市負担分の増額により、負担金の不足が見込まれるため。

要望

不法投棄に繋がらないよう、適正処理の指導と、助成制度の拡充をお願いしたい。



▲今年度回収日

※使用済みの農業用プラスチック（ビニール、ポリエチレン）は事業者個人が適正に処理することが法律により定められている。令和2年度は事業者の負担金が前年度と比べ、約5倍近く跳ね上がっており、市の農業用廃プラスチック適正処理推進協議会の審議を経て、事業者負担金を3割程度に抑えるための助成を実施している。



文教福祉

村津川島谷木取
◎木長小長幡植香

◆学校給食センターの統合

問 現在の小美玉市学校給食センターの規模で玉里給食センター分も賅えるのか。また、統合後の玉里学校給食センターの職員の数については、

答 小美玉学校給食センターの調理能力規模は5200食となっている。現在、小美玉給食センターで4000食、玉里給食センターで800食と調理の限度内にある。また、統合後の職員の処遇については、正規の調理員は、小美玉学校給食センターへ異動、任用職員も同人数を要望しており、小美玉学校給食センター職員としての勤務も可能である。

◆健康増進施設管理運営費

問 小美玉温泉湯GO！（旧：小美玉温泉（とびき））駐車場整備事業の進捗について伺う。事業全体は、計画どおり進んでいるのか。

答 エントランス工事は、発注の方法を検討中。また、駐車場工事は用地買収後に実施するため、令和3年度に着工する予定。



◆四季健康館コロナ禍の対応は

問 利用者のコロナ禍の感染予防の対策は。

答 コロナ対策に関しては、受付において体温測定を行い、熱がある方には、そこで帰っていただくシステムを取り、館内は脱衣所までマスク等の着用をいただいている。湿度などの関係から、お風呂は感染のリスクはかなり低いということから、脱衣場、廊下、ロビーと入り口で感染予防を徹底している。



◆医療センター経営改革事業 旧病院解体費決まる

問 今回解体費等の交付金が計上されているが、解体費用について、まだ工事が行われている段階だと思うが、これ以上増える可能性はあるのか？

答 解体費は、これ以上発生しないと聞いている。小美玉市医療センターの移譲に関する基本協定書に基づき、新病院の開院に伴う旧病院の解体工事と医療機器等の処分費用は、本市が支払うこととしている。

「いばらきアマビエちゃん」を利用しましょう

「いばらきアマビエちゃん」は、ガイドラインに沿って感染防止に取り組んでいる事業者を応援するとともに、感染者が発生した場合に、その感染者と接触した可能性がある方に対して注意喚起の連絡をすることで、感染拡大の防止を図ることを目的としたシステムです。



新型コロナウイルスを含む感染症対策を徹底しましょう

正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

特定のテーマに取り組む

特別委員会

市の仕事を分野ごとに分けて審議する常任委員会のほかに、特定のテーマを取り上げて話し合う4つの特別委員会が設置されています。専門的な視点から市政に対するチェックをするなど、まちづくりをすすめるために重要な役割を担っています。今回は議会活性化特別委員会で調査研究している内容を取り上げてお知らせします。

議会活性化特別委員会

市民に開かれた議会を目指し、議会改革を推進する取組みを進めています。

委員
11名



【構成委員】

◎幡 谷 木 村
○村 田 島 田
荒 川 長 津
長 島 香 取
石 井 戸 田
植 木

議会活性化特別委員会では、従来から続けている議会の活性化（改革）をさらに進めるための取組みを行っています。

まず、ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入については、議会活動の活性化と効率化が図られ、また、市執行部や議会事務局の業務軽減の効果が大きいことから、今年度中の整備を目的に取り組んでいます。

また、議会基本条例第5条に規定されている「会派」についても、個々の議員の資質向上に役

【主な検討事項】

- ①ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入
- ②会派制及び政務活動費について

立てることができる等のメリットがあることから、導入に向け調査研究をしています。

さらに、会派制の検討と併せ、地方自治法第100条により、議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、交付が認められている、「政務活動費」についても、今後、将来的な議会、議員の在り方、役割を考えたとき非常に重要なことから、具体的に関係条例、規則の策定を行っていくこととし、現在策定案の検討を重ねています。

百里基地対策

百里基地対策に係る諸課題を調査し、基地周辺地域の生活環境の向上を図るため関係機関への要請、折衝を行います。



委員
10名

茨城空港周辺地域振興対策

茨城空港を核とした、「まちづくり構想」に定める取組み方針で示された、「そらら拡張」「そらら参道」「エコトープ」「Jフロント」の4つの整備候補地及び空港アクセス沿道エリアの一体的な地域振興について、重点的に調査、研究をしています。

委員
10名

広 報

より親しみやすく、わかりやすい議会広報を発行するために調査研究を行い、年4回議会だよりを発行します。



委員
7名

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

一般質問します！

市政を質す！
ただ



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、
市議会議員が市に対して行う質問です。

【質問議員 11名】 ※質問順

- P 9 長津 智之
- P10 木村 喜一
長島 幸男
- P11 小川 賢治
谷仲 和雄
- P12 村田 春樹
島田 清一郎
- P13 戸田 見良
香取 憲一
- P14 石井 旭
福島 ヤヨヒ



学校教育における少人数教育の実現に向けて

少人数教育の充実に取り組む

長津 智之

- Q 現在、玉里学園義務教育学校と小川北義務教育学校の2校の校舎建設を行っている。教育環境づくりは着々と進んでいると思う。今、日本国中、新型コロナウイルス感染症対策として密閉、密集、密接を避けるための日常生活となっている。そこで1学級の定員を40名から35名以下にして、一人ひとりに目が行き届きやすく、学力、学習意欲の向上を支援する少人数学級を实行してはどうか。
- A 教育長 現在、「小美玉市立小中学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、座席の間隔に配慮するなど学校生活の中での3密を避けながら教育活動を行っている。少人数教育の導入により、教育活動における感染
- リスクを抑えるとともにきめ細かな教育の実現が期待できると考える。市費負教職員の配置は、条例に規定する最大10名の採用を目的に努力し、少人数教育の充実に取り組む。
- Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が各地方自治体に感染症対策を支援するために交付されている。本市も約60事業を実施されているが、支援事業として保育園や認定子ども園等の保育士に対する慰労金の給付を実施してはどうか。
- A 企画財政部長 この件について各市町村の裁量に委ねられており、今後の交付金事業の進捗を踏まえ、国の第3次補正予算の動向を注視しながら、慰労金給付について検討していく。

都市計画等に精通した職員採用で戦略的な都市整備を

任期付職員採用規定に基づき人事交流をさらに検討する



木村 喜一

- Q 都市計画マスタープラン改正の重点事項は。
- A 都市建設部長 空港周辺及び空港線沿い、岩間インターアクセス及び市の主要幹線道路沿い、羽鳥駅周辺整備や国道6号バイパス整備事業、りんりんロード整備など新たな土地利用構想や公共施設の整備状況を反映させていく。
- Q 未整備都市計画道路の将来的な見直しは。
- A 都市建設部長 都市計画道路再検討調査結果を踏まえ、新たな道路ネットワークと都市の再構築の取り組みなど実情に合った都市構造を目指すために都市計画変更を検討していく。
- Q 都市計画に精通した県職員または団体OB等の経験者採用でまちづくりを推進し、そのノウハウを市職員が蓄積し引き継ぎ、好循環となる仕組みの創設を望む。
- A 都市建設部長 人事担当部署と協議し県の職員派遣・人事交流制度を含めて検討する。
- Q 住居表示の代替施策について伺う。
- A 総務部長 分かりやすい道路標示や任意番号の表示等利便性向上のため、地域住民に寄り添い、実現可能な手法を検討する。
- Q セットバック道路敷の積極的寄附受入や買収整備で安全な市道環境の形成を望む。
- A 都市建設部長 要件や課題を整理し良好な道路形成のために各方面と協議調整する。
- Q 行政におけるドローンの活用および民間専門業者との連携について伺う。
- A 市長公室長 不法投棄の監視や状況確認など幅広い分野で活用する。
- Q 企業版ふるさと納税の活用を望む。(ムービンGハウス)
- A 企画財政部長 包括協定の内容を踏まえた利活用の内容を検討した上で企業版ふるさと納税の制度活用の条件となる市総合戦略改定を進めていく。

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の活用方法とその効果は

感染防止と経済活動支援のため事業の推進を図っていく



長島 幸男

- Q 交付金の活用方法・執行状況・その効果は。
- A 企画財政部長 第1次分、第2次分、9月、10月の追加補正分、あわせて総額1,097百万円の予算で事業を進めている。感染拡大の防止を図るため感染症予防対策費として18事業で約135百万円、飲食店や事業者への支援として7事業で185百万円、高齢者並びに子ども世帯への支援6事業で157百万円、新たな生活様式への対応として11事業で202百万円、社会的環境の整備として11事業で363百万円などである。
- 事業執行状況は、全体で59事業中、44事業で着手し、執行額は378百万円、執行率は34.4%、年度内の完了に向けて進めている。
- 効果は、4月に感染症予防対策として、市民へのマスク配布・除菌水無料配布など感染症拡大の抑制に寄与できた。また、
- 事業者への支援として休業要請協力金や持続化給付金、市内経済の回復を目指し、プレミアム商品券の発行や高齢者・子どもを対象とした食事券の配布等を実施し、地域経済への有効な施策として効果があつたと思う。
- 要望 プレミアム商品券事業：2日間にわたり販売（1人10万円、家族3人まで30万円限度）したが、人気がありすぐに完売したと聞いている。他市町村と同様1人2万3万円限度で幅広く市民に行き届くこと、また販売は小川、美野里地区であったが、玉里地区での販売も今後は検討願いたい。
- Q その他の質問
- 1. 文化財の保存・管理・活用について
- ・本市の文化財は、どのくらいあり、その保存・管理・活用について
- 2. 高齢者避難個別計画
- ・現在の作成状況は。
- ・作成率を向上させるためには。

農村環境改善センターと竹原小学校の複合化は

竹原小学校の地域交流室や多目的スペース等で活動を展開できる



小川 賢治

現在の農村環境改善センター ▶



Q1. 小美玉市公共施設等総合管理計画について
市内公共施設の主な改善策を伺う

① 羽鳥公民館・羽鳥ふれあいセンターの羽鳥駅東口複合施設への集約化
② 農村女性の家の納場幼稚園への機能移転
③ 農村環境改善センターと竹原小学校の複合化
④ 美野里公民館・図書館と堅倉小学校の複合化
⑤ 羽鳥小学校・納場小学校の統合

A 総務部長
① 駅前に窓口機能等と合わせた複合施設を整備し集約化、重複機能の解消、新たな駅前拠点施設と考える。
② 必要な改修を行うことで施設の有効活用を図る。
③ 地域交流室や多目的スペース等が設置されていて、農村環境改善センターで行われている活動を展開できると思われる。
④ 多目的スペース等があるため、教室等の配置の見直しや運用時間の工夫等を行い、公民館で行われている活動を展開できる。
⑤ 老朽化した2校を統合、建て替えにより、教育環境・生

活環境の向上など整備レベルの向上が期待できる。

Q2. コロナ禍（持続可能な開発目標）について
SDGSの目標の一つに「住み続けられるまちづくりを」があるが、本市の持続可能なまちづくりの進捗状況を伺う。

A 企画財政部長
① 市内循環バス10種類の交通系ICカードが利用できる。
② 高齢者外出等支援事業、タクシー初乗り料金相当額の子ケットを年24枚配布。
③ 学校の統合による遠距離通学児童は無料でスクールバス利用
④ 道路環境の充実を位置づけ、市内幹線道路の整備、生活道路整備、歩道整備などを進めている。
⑤ 民間企業との連携や市民への周知を継続的に進めていく。

Q 市民を対象としたSDGSセミナーの開催や市役所内へ専属の係を設置しては。
A 企画財政部長 市民対象のセミナーはコロナの感染状況を注視し対応する。専門の係の設置は協議し検討する。

第4次行財政改革の基本的な考え方は

行政サービスの「質的改革」を推進する

谷仲 和雄



Q R3年度から第4次行革に入るが経常収支比率の抑制が課題。第4次行革の考え方を伺う。

A 総務部長 量的改革が定着する中、前例にとられず、行政サービスをより効果的・効率的に提供できる質的改革を推進するとともに経常収支比率の改善に努める。

Q R3年度予算編成方針を伺う。

A 企画財政部長 来年度中に見込む全ての経費を盛込んだ通年予算として、併せて国・県の動向を逐一見極め対応する。歳出面での一般財源配分額の抑制や歳入面で国・県補助制度を最大限活用する。

Q 経常的経費の割合が高まるにつれ「事業の選択」と「枠配分導入の趣旨」との間に乖離が生じる。



できていられると思われ、市長の見解を伺う。

A 市長 限りある財源を有効に配分し効果的な予算編成が重要、行革に取組み政策的経費の財源確保をする必要がある。

Q 観光振興を具体的に実行するための基本計画の策定が急務と考えるが見解を伺う。

A 産業経済部長 観光振興の指針や具体的事業については総合計画やダイヤモンドシティプロジェクトに基づき実施している。後期基本計画との整合や策定期間などを含め検討したい。

※ 枠配分方式：来年度予算の大枠を決定した上で、部局別の一般財源配分額に基づき、各部局は配分額の範囲内で予算要求を行なうもの。

▲ 霞ヶ浦沿岸のコスモス (大井戸湖岸公園付近 R2.10.28撮影)

羽鳥駅から茨城空港の直行バスは

運行実現に向け、引き続き県に強く働きかける



村田 春樹

Q 羽鳥駅から茨城空港の直行バスについて伺う。

A 都市建設部長 陸の玄関口と空の玄関口を結び重要な路線ルートと認識しており、引き続き県に対し、羽鳥駅と茨城空港間の直行バスの運行実現に向けて強く働きかける。

Q 元気っ子、玉里幼稚園が統合された後、どのような幼児教育を考えているのか。

A 教育部長 幼児の遊びや生活という直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、社会との関わりや生きていく基礎を培うための幼稚園教育の充実を推進していく。

Q 令和3年度市立よつば幼稚園が開園するが、3年保育は可能か。

A 教育部長 小美玉市初の試みである幼小一体型幼稚園での幼児教育を軌道に乗せ、万全な受入体制を確保することを最優先事項として推進していくため2年保育で開園する。今後、地域の動向を見極めながら、元気っ子幼稚園と玉里幼稚園の統合が決定した際に、市内公立幼稚園の提供サービスの格差が解消されるよう、3年保育に向けて検討していく。

Q 保護者のニーズ、時代のニーズに合わせ幼児教育の将来像をどのように考えているのか。

A 教育部長 預かり保育を元気っ子幼稚園、玉里幼稚園に加え、よつば幼稚園でも実施する。将来的には、幼稚園、小学校の交流をより盛んにしたり、カリキュラムの見直しをしたりするなど、幼児教育と小学校教育の円滑な接続・連携を推進していく。また、特別な教育的支援を必要とする幼児には教育的ニーズに合わせた支援を行い、保護者の困り感に寄り添った対応の充実を考えていく。

定住促進施策、羽鳥小の移転統合について

慎重に検討、重要な選択肢の一つとして提案



島田 清一郎

Q 定住促進の施策として①道路整備に合わせた土地利用計画、特に住居系用途地域の見直し②子育て専用市営住宅の提供③学校給食の無償化について市の考え方を伺う。

A 企画財政部長 ①都市計画マスタープラン改定作業の中で、道路ネットワーク等を考慮し、土地利用の方針を検討する。

②新たな市営住宅の建設予定はない。子育て世帯は、現存の市営住宅の入居者の資格条件として、緩和措置がされている。さらに制度設計を検討する。

③現在学校給食についてかなりの公費負担を伴っており、新たな財政負担を伴うため慎重な検討が必要。給食の充実に向けて取り組む。

Q 公共施設等総合管理計画の中で、羽鳥小と納場小が移転統合になった経緯について

A 教育部長 市の財政負担を軽減するため、計

画目標として、今後40年間で公共施設の延べ床面積を30%削減する。両校は老朽化が問題となっており、生徒たちによりよい教育環境を提供するため、重要な選択肢の一つとして提案する。

Q 小学校の生徒数の適正規模について

A 教育部長 学級数の規模については学校教育法施行規則の中で、12学級以上18学級以下を標準としている。廃校を検討する基準は5学級以下になったときが対象となる。

Q 羽鳥小の生徒数が今後も300人後半を維持できれば、12学級が編成できるので現地での建て替えが妥当では。

A 教育部長 建設時期、建設手法等のアプローチ方法については、十分慎重に見極めて決定していく。今後、関係者の方々と十分協議した上で、これらを定めていく。



感染症に強い環境づくりのための対応策は

あらゆる状況にも適応するよう現計画の見直しに取り組む

戸田 見良

小美玉市の強み・産み出す力について

Q 感染症に強い環境づくりのために三密以上の対応策や複合災害への備えは。

A 保健衛生部長 平成26年に小美玉市新型コロナウイルス感染症等対策行動計画を策定され、感染拡大防止や市民生活への影響を最小にするための全庁的な取り組み、情報発信体制の構築、蔓延防止に関する措置、予防接種の実施等の計画を示している。現計画に基づき、各関係機関と連携し感染対策を進めているが、今後のあらゆる状況にも適応する計画となるよう、現在、見直しに取り組んでいる。

Q 感染症の増加の対応は。管轄保健所が感染者増加で麻痺してしまったら。市独自の受入体制の整備は。

A 保健衛生部長 感染が疑われる初期段階から対策を講じている。受入れ体制が逼迫し、県から要請があった場合に、体制整備について市内事業者が県と連携し協力体制を取ることも想定される。市独自の受入体制の整備は、県と連携の上、調査研究していく。

Q コロナ禍中での市民への職員対応や各部署間での協力体制の連携は。

A 総務部長 感染症対策室を設置し、緊急事態宣言時は職員を2班に分け、隔日交代制のシフト勤務体制を行った。緊急時の部署間の連携は、対策室職員以外の職員の協力を得るとともに、特別定額給付金申請書の発送や次亜塩素酸水配布にあたった。

その他の質問
Q 小美玉市の強みと産み出す力になる県道茨城空港線などの土地利用、道路利用計画は。

盤石な危機管理体制の早期確立を期待する

適切迅速な危機管理体制構築を目指していく

香取 憲一

Q 新型コロナウイルス対策と同時並行の来年度予算編成には多くの課題や困難が予想されるがその心意気を伺う。

A 企画財政部長 人口減少、少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの影響で、確実に歳入は落ち込むことが予想されるが、徹底した行財政改革、市債残高の抑制に留意し、原則令和3年度に見込まれる全ての経費を盛込んだ予算編成に努める。經常収支比率（弾力性）は88%を目標に改善に努める。

Q 10月27日の市庁舎爆破予告対応を通して抽出された危機管理上の課題と課題を伺う。

A 危機管理監 今回の爆破予告に対しては、市長の指示を受け各部署が連携して対応にあたり、3時間の臨時閉庁を経て、何事の被害もなく事態の

収束を迎えた。危機管理上の課題課題は、事前の情報収集の重要性、平時からの危機に対する準備、未曾有の危機に対する初動体制へのマニュアル策定の必要性を認識している。

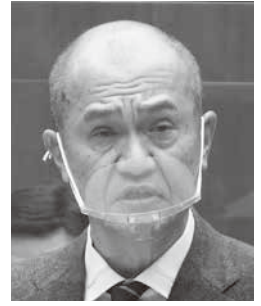
要望 直轄組織である危機管理監、防災管理課の権限を強化し、いついかなる危機にも迅速に対応できる、縦割を排除した確立された指揮命令系統の危機管理体制の早期確立を望む。

Q 旧小川小・橋小跡地利活用について

A 総務部長 旧小川小については周辺地域を文化・教育・歴史の集まる地として一体的に整備し活性化を図ればと考えている。旧橋小は土地・校舎・工作物（プール）立竹木の移転補償を受け、令和3年度に解体工事を実施する予定である。

やすらぎの里小川にキャンプ等の整備をしては

運営委員会での意見を受け、新たな取組みを検討



石井 旭

Q 小川北義務教育学校のスクールバスの乗降場所において不公平感が無いように、更には地元区長に相談し、通学上の安全面に配慮してほしい。

A 教育部長 統合による遠距離通学の距離基準としては、概ね3kmとしているが、運行計画について対象となる上吉影小、下吉影小の保護者の意見をもとに見直し、開校準備委員会で協議を行った。乗降所の位置について、委員会での具体的な提案を踏まえ、地域や保護者の協力と理解を得ながら、今年度末までに運行計画を決定していく。

Q 各小学校等の跡地利用について、特に下吉影小学校はまだ新しい校舎なので、解体ではなく民間事業者へ売却や有償貸付を検討してほしい。

A 教育部長 「公共施設建築系個別施設計画(案)」での小中学校の改善の方向性は「義務教育学校整備後、閉校となった学校は原則除却の方向で検討を進める」としているが、

下吉影小学校は他の閉校となる小学校と比較しても施設が新しいこともあり、「売却・貸付」としての利活用を考えている。

Q 小川公民館を解体し、やすらぎの里に機能移転させる案があるが、小川図書館・資料館を増築し、公民館機能を維持できるように見直し、要望する。

A 市長 小川公民館周辺地域を、歴史と文化のまちづくりに向けて一体的に整備し、地域の活性化が図られればと考えている。地域の実情を踏まえ、ニーズに合った整備ができるように進めていく。

Q やすらぎの里小川にバーベキューやオートキャンプが出来るキャンプ施設等の整備を提案、要望する。考えを伺う。

A 文化スポーツ振興部長 運営委員会での意見を受けながら新たな取組みに向けて検討する。ヘルスロードに指定されている遊歩道においては健康作り教室の取組み等、新しいアイデアや企画提案を取り入れ利活用に向けて進めていく。

公共施設管理計画は住民の声を反映して計画作りを

丁寧な周知を行い、ニーズの把握に努め進めていく



福島 ヤヨヒ

Q 市公共施設等総合管理計画は40年後を見据えての計画で、施設の30%削減を目指しているが、市民の声がどれだけ反映されていくのか。10年ごとの実施に際しては順番をどう作るのか。すでに廃校廃園になっている施設にはすぐ利活用できるものもあるが、だれがいつ決めるのか。市民の声を活かしてほしい。

A 総務部長 管理計画推進本部の中で全庁的に取り組んでいく。解体と位置付けている施設も機能移転しながら行政サービスの低下にならないよう努める。跡地利用等は総務部行政経営課が窓口になり検討していく。

要望 市民の多様な声が活かされるような仕組みを早く作って欲しい。

Q 美野里地区のよっぱ幼稚園は、小学校の2階部分に設置されるが、園児の安全制の確保はできているか。保護者を含めた準備委員会は設置されていたか。送迎や預かり保育の体制はどのようになっているか。

A 教育部長 小学校の余裕教室の有効活用を考え設置した。地域住民等交えた準備委員会は設置しなかったが、幼稚園や小学校の教諭などで構成する検討委員会で設置場所を議論し、安全対策を施し、改修を進めている。送迎や預かり保育は、地域格差を解消するため、他の公立幼稚園と同様に実施予定。

Q 玉里学校給食センターが廃止され小美玉給食センターに統合されるが食器等対応はできているか。欠食が起きないよう、機器の管理対策を十分行って欲しい。

A 教育部長 食器、配送車の準備も進んでいる。欠食にならない対策も保守点検などをしっかり取り組む。

Q 命を守る救急体制の構築のためにも「要援護特定在宅療養継続登録者制度」の制定を。

A 消防長 高度な救急処置ができる救急救命士を配備し、体制を整え対応していく。

第 58 回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第 60 号の中から、問題を 3 つ出題します。
正解した方の中から抽選で、10 名の方に小美玉ふるさと食品公社
で利用できる商品券（1,000 円分）をプレゼントします。
ぜひご応募ください！

- 問① 小美玉市議会だよりの発行は今回節目の第〇号となります。
- 問② 市民に開かれた議会を目指し、議会改革を推進する取組みを進めている特別委員会の名称は〇〇〇〇〇特別委員会
- 問③ 次回定例会の開会予定日は 2 月〇日（金）

◇応募方法 はがき・FAX などに、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和 3 年 2 月 26 日（金）まで *当日消印有効

◇応募先 〒 319-0192 小美玉市堅倉 835
小美玉市役所議会事務局宛 FAX：0299-48-1199
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。
☆クイズ当選者発表は、商品券の発送をもってお知らせします。

第 57 回クイズの正解

- 問① 令和元年度一般会計の歳出決算額は〇〇〇億 8,875 万円 答え→ [250]
- 問② 令和元年度小美玉市の実質公債費比率は〇.〇% 答え→ [7.6]
- 問③ 令和 2 年第 3 回定例会 審議結果件数は全〇〇件 答え→ [35]

過去にクイズ当選者の方へお送りした「キャトル・セゾン」の食事券の取り扱い

このたび、「キャトル・セゾン」が令和 2 年 9 月 13 日をもって閉店となり、過去に本紙のプレゼントクイズ企画でお送りした食事券がご利用できなくなりました。

まだお手元に当選したお食事券がございましたら、今年度に限り、下記のとおり小美玉ふるさと食品公社の商品券として利用できることになりましたので、お早めにご利用くださいますようお願いいたします。

◆利用場所 小美玉ふるさと食品公社
そ・ら・ら売店（空のえき そ・ら・ら内）
小美玉市山野 1628-42
直営店（花木センター内）
小美玉市部室 1189-4

◆有効期限 令和 3 年 3 月 31 日（水）

ア マビエ登録を義務付けてほしいです。
（与沢・Nさん）

若者に政治に関心が持てるよう
にと考えています。議員インターンシップ
受け入れと、その記事は大変有意義のある素晴らしい
取り組みだと思います。（羽刈・Yさん）

市民の声



議会だより毎回楽しみに
しています。若年層の政治
離れの抑制に期待していま
す。（高崎・Eさん）

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

以前は難しすぎると思って
読まなかった議会だよりは、クイズの
答えを探して読むとおもしろいように理解
できました。もっと早くから読んでいれば
よかったです。（野田・Hさん）

インフルエンザの予防接種
2,500 円の助成を受けて早速接種を行ってきま
した。主人と二人ですので、とても助かります。
コロナ早く収束してほしいです。
（中延・Kさん）

感染防止に向けた議会の取り組み

新型コロナウイルスの感染症が猛威を振るっており、いまだ予断を許さない状況が続いているため、令和2年第4回定例会において、引き続き感染症対策として次のような取り組みを行いました。

- 議員席・執行部席にアクリル板を設置（写真右上）
- 発言終了後にアクリル板、マイク、テーブル等の消毒（写真右下）
- 一般質問の発言時間を20分に短縮（通常40分）
- 会期中の議員および執行部の検温、マスク等着用の徹底
- 議場入口および傍聴席入口の換気
- 傍聴席に間隔を空け、傍聴者には検温、マスク着用、手指消毒への協力を依頼。
- 本会議および委員会における出席者の制限



3月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
					2/26 本会議 (開会、議案 説明等)	27
28	3/1	2	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 予算特別委員会	10 予算特別委員会	11 常任委員会	12 常任委員会	13
14	15 常任委員会	16	17	18 本会議 (報告、採決、 閉会)	19	20

* 議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応策として、3密（密閉・密集・密接）を避けるために入場を制限させていただきます。ご理解をお願いします。

* 委員会等の詳しい日程については、2月25日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

* 定例会中の本会議（一般質問など）は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます（受付は不要）。

次の定例会は
2月26日（金）開会予定 です

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

編集後記

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。年末年始は新型コロナウイルス感染症の対策で、国民も行政も混乱いたしました。まだまだ出口の見えないコロナ禍の中ですが、全市民心をひとつにして、マスクの着用、3密の回避、手洗い、消毒など基本的な対策を徹底しましょう。昨年の世相を表す漢字は「密」でした。密のイメージは、関係が深いことや親しいことの意味もあります。今年は「密」は密でも、密度の濃い年にしたいと思っています。小美玉市議会だよりの発行が今回第60号の記念号でございます。これから益々市民に愛され親しまれる議会だよりとなるよう、委員長中心に委員一同、一生懸命に活動してまいります。よろしくお願いたします。
(長津 智之)



発行編集責任者 議長 笹目 雄一
 広報特別委員会 委員長 植木 弘子
 副委員長 香取 憲一
 委員 幡谷 好文
 委員 木村 喜一
 委員 島田 清一郎
 委員 長津 智之
 委員 戸田 見良

